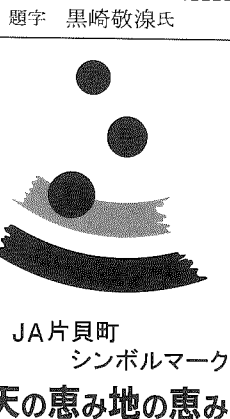


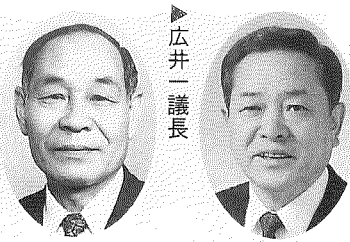
片貝新聞

発行所 片貝新聞社
〒947-0101 小千谷市片貝町10367-4
TEL 0258-84-3246
FAX 0258-84-2632
編集発行人 吉原芳郎
印刷所 吉原印刷(株)



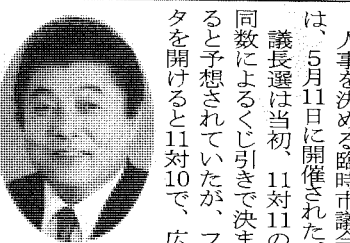
広井議長、新保副議長決まる

吉原総文委員長留任 安達農業委員、大平産経副

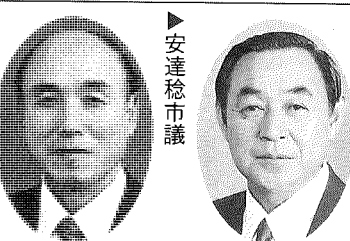


廣井一議長

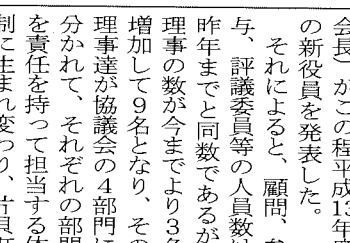
新保好雄副議長



吉原正幸市議



安達雄市議



大平貢市議

改革の時期
日本中の注目を集めた小泉政権が発足して一ヶ月、いまその成果が取りだされている。

たしかに我々が知る限りの歴代総理とは一味も二味も違った雰囲気を見せてくれているが、何となく「あつち」国民から評価されているのは、「恐ろしく、ひるまず、とらわれず」という三つの目標を掲げ果敢に改革を断行しようとする意気込みが多く国民の支持を得ているものと思う。

この頃上場企業などで今までの慣例と異なる人事が決定され小泉現象といわれているという。

③が、総務文教委員長にそのまま留任、安達雄市議(55、八島)④が農業委員、大平貢市議(58、五ノ木)が産業経済副委員長とそれぞれ要職についた。

人事を決める臨時市議会は、5月11日に開催された。議長選挙は当初、11対11の同数による引き引きで決まると予想されていたが、フタを開けると11対10で広井一議長が選ばれた。

井市議が対抗の石坂市議(70、上片貝)④を一票差で退け、スナリ議長職を射止めた。無効票は2あり、1票は白票、もう1票が「石坂」一と書かれていた。

果たして小泉政権が今後継続して改革を断行でき、大方の国民を裏切ることなく期待に応えられるかどうか不明だが、少なくとも戦後五十年、地方を問わずこのままの状態ではほんとうに良いのか、あるいは大幅な改革をしなければならぬのか、為政者や議員はかりでなく国民も含め考える機会を与えられたのは事実である。

そうした観点にたつて市政を眺めてみると、おとな点で、今迄の慣例に捉われない新しい方策があつてもいいように思う。

その例としては何だか二年前で交替する議長選挙などはその典型である。派閥の順送り人事ではな

たとえられていよう。因みに片貝勢は吉原市議が政友クラブに属し石坂市議を支持、安達市議は新生クラブに属し石坂市議を支持、大平市議は政和クラブに属し石坂市議を支持していたこと。

副議長選挙は新保市議と猪

たとえられていよう。因みに片貝勢は吉原市議が政友クラブに属し石坂市議を支持、安達市議は新生クラブに属し石坂市議を支持、大平市議は政和クラブに属し石坂市議を支持していたこと。

副議長選挙は新保市議と猪

主張

などが、いろいろ理由はつけられる。然し議員数の割りには会派が多くそれぞれ自派の特色を出す、とすれば、当然それだけ摩擦が多くなり、いらぬ労力を費やすことになりかねない。

仄聞するに今回の議長選挙においてはもう一人

いる。「去る4月15日の総会で吉井前会長の退任を受け、会長の職をお引受けする事となりました。まさに、浅学非才の身でありながら、役員・理事各々の御協力を得、協議会運営に努力致して参りたいと思っております。

顧みずして歴史を振り返ると、友田清三郎氏に始まり、名士方々が片貝地区発展に御努力頂きまして、今後は地区の合意形成に努め、それを力に諸問題の目的達成に取組んで参ります。

安達市議の常任委員会は、社会土木委員長、その他吉原市議が協議会運営委員会に所属。

片貝協議会役員決定

川上会長抱負を語る

片貝町協議会(川上東陽)が、この平成13年度の新役員を発表した。

それによると、顧問、評議員委員等の人員数は、昨年までと同数であるが、理事の数が今より3名増加して9名となり、その理事達が協議会の4部門に分かれて、それぞれの部門を責任を持って担当する体制に生まれ変わり、片貝町協議会も一歩前進し、これ

ミニバスケットをやるよ

男女小学生を募集

片貝町バスケットボール協会(会長大矢良一)では、小学生を対象とした、ミニバスケットボール部の男女部員を広く募集している。

▽男子部員対象は小学校1年生から6年生まで、練習日は火・木曜日は午後7時から9時、土曜日は午前9時から正午までの週三回、練習場所は片貝小学校体育館、会費は月額千五百円(スポーツ保険等の実費)。

友田組合長再任

J・A、新理事でスタート

J・A片貝町の第53回通常総代会が去る5月22日(火)午後1時からJ・A片貝町三階会議室で開催された。

当日は総代二百四十五名の内二百名が出席し、議長に選出された、神林壮一氏(池津)の議事進行により、平成12年度事業報告、平成13年度事業計画案、平成13年度事業計画案の6議案が提出され、質疑応答の後提案された、8議案すべてが原案どおり可決された。

友田明石組合長は挨拶の

球音響く

トナカイが勝つ

第21回片貝町杯争奪戦が片貝町野球場(太刀川)の主催で去る5月20日(日)午前8時から片貝野球場で開かれた。優勝したのはトナカイ(敬称略)だ。

(写真)が優勝したトナカイ(敬称略)だ。

こちらスロテン

スロテン

第37回片貝野球場連盟会長杯争奪戦が去る4月22日(日)午前8時から片貝野球場に、4チームが参加した。

スロテン

みんなで歌おう!

愛唱歌「山河」誕生

中高年を中心とする愛唱歌グループ「山河」が片貝町にこのほど誕生した。5月19日夜8時から、四町の正順寺本堂で発会式と第一回の練習会を開催、活動を開始した。

これは四町の相崎定夫(安達美里)さんが担当、幸氏が中心となり、希望者を募って発会させた。本堂に集まったのは約八十名、そのうち半数以上が男性、しかも全てが中高年。

活動日は毎月第三土曜日午後8時から正順寺本堂で行なう。会費は年間二千元。希望者は活動日に会場。

かたかい春秋

市議会人事が、小千谷市議会の小早川秀秋は誰なのですかと悩んでいること、と毅然とした態度をとれないのか。そもそも日本はきちんとしていない。中国は中国で自分の国の子供に、一つの国定教科書を持つ、いかにそれをつけるか、という教育のやり方、これこそが、内政干渉ではないか。それは、内政干渉も頭を悩ませている。その結果、外交を見ていると、何となく自分の国に自信が持てなくなるといえる。

た、その中国を含め、大人のそとであれば、子供達はもつと深く、「日本という国はダメなんだ」と思うに違いないのでは。

なにしよ話

市議会を傍聴していた筆者的が友人が嘆いていた。思想的なことはいざ知らず、その議会姿勢は熱心で勉強もしている、と市議員の中で一番まじめな市議員が、自説を語りながら当局に迫る時、「二歩譲って」と発

なにしよ話

市議会を傍聴していた筆者的が友人が嘆いていた。思想的なことはいざ知らず、その議会姿勢は熱心で勉強もしている、と市議員の中で一番まじめな市議員が、自説を語りながら当局に迫る時、「二歩譲って」と発

なにしよ話

市議会を傍聴していた筆者的が友人が嘆いていた。思想的なことはいざ知らず、その議会姿勢は熱心で勉強もしている、と市議員の中で一番まじめな市議員が、自説を語りながら当局に迫る時、「二歩譲って」と発

なにしよ話

市議会を傍聴していた筆者的が友人が嘆いていた。思想的なことはいざ知らず、その議会姿勢は熱心で勉強もしている、と市議員の中で一番まじめな市議員が、自説を語りながら当局に迫る時、「二歩譲って」と発

第32回中越親善大会で

片中バスケット3年連続V

新チームになって初の優勝

第32回中越地区中学校親善バスケットボール大会の優勝を飾った。この大会は母校片貝中をより強くしようと地元関係者が開いている大会で、昨年までに1月中旬に開催されたが、今年はこの時期に開催され、片貝中は一回戦はシードされており二



回戦から登場し、十日町中を40対28の大差で取り、準決勝戦では宮内中と対戦し優勝した。片貝中は準決勝の後半相手の追い上げを振り切り65対56で勝利。決勝戦では小千谷中を56対52の接戦で敗った。東石山中と対戦して前半20対27とリードされたが、後半追い上げ残り時間を

3秒でゴールを決め、45対43の1ゴール差で3年連続優勝杯を獲得した。優勝した片貝中のメンバーは次のとおり。（敬称略）
 前鋒 黒崎諒、山田貴弘、高野克也、大矢智史、吉井雄介、小林孝弘、芝大介、石上竜也、高野文彬、大矢折良、浅田将吾、吉原紀人、黒崎、小野塚巧、神林和也

いよいよ学童保育の希望者募集始まる

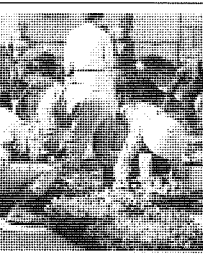
片貝学童保育準備委員会（高橋良子代表）では片貝学童保育利用希望者を広く募集している。同委員会は今年1月に発足して以来、2月と3月には保育園と小3年生までの保護者にアンケート調査。4月には片貝小学校で保護者説明会等エネルギー的な活動を行っている。関係者は「この程子供たちの指導をして下さる、指導員の方も決まり、夏休み半日での利用の児童の申込みも受け付けていますので、片貝学童保育を利用ください。お待ちしています。」と語っていた。

6月29日開講 参加者集まれ

片貝公民館主催の高齢者学級「ヤヨイ大学」講座が今年も今月の29日金曜日から12月7日金曜日まで10回開講される。主催者では「昨年参加した方も、初めての方も気軽にお出かけください。多くの参加を…」と語っていた。

稲場花いっぱい運動

稲場町内会（小宮政昭会長）では同日の老人会、子供会と共に、去る4月28日（土）午後2時から「稲場花いっぱい運動」に取り組み。当日は天候に恵まれ、片貝小学校脇に老若男女50名前後が集合し、老人会男性は土と腐葉土を混ぜてプランターに入れ、稲場町内は花いっぱいとなった。

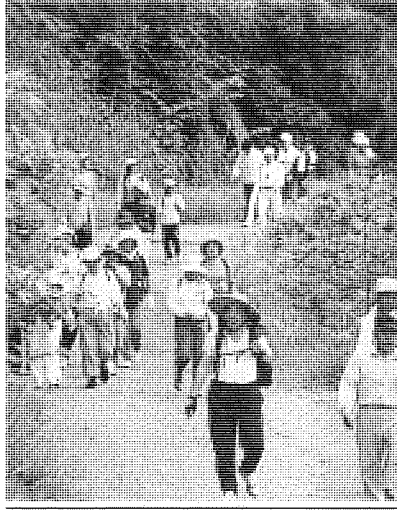


野菜直売所「花母茶」

今年も県道片貝山道線（通称西部線）の鴻巣入り口バス停の近くに、畑のおみやげ「花母茶」が今月の10日（日）午後3時から30分オープンする。この花母茶は鴻巣町の専業主婦が、農業の活性化を目的に、農業用のパイプハウスで作ったお茶を昨年開設したもので、三年目となる今年は10日午後3時から30分オープンイベントとして音楽グループ「フル

新緑の中を300名歩く

いい汗かいてサービスマン



第五回片貝町健康ウォークがJA片貝町、JA女性部主催、片貝町体育協会、片貝公民館、若杉会歩こう会後援で、去る5月20日（日）午前九時JA片貝町生産課広場スタート。パイパス、高速道路脇、松下電送、坪

野山小学校→太田ダム→山谷小学校→坪野→松下電送→JA鴻巣支所→町裏パイパス→生産課広場→ゴルフコースで開催された。当日は家族揃ってや仲間連れなど総勢300余名が参加。中には乳母車での参加も見られ、参加者はそれぞれ自分のペースで新緑の中を歩いた。休憩場所の太田ダムでは参加者全員にスポーツドリンクと希望者にアメ玉とガムが提供され、ここでゆっくり休む人、休まず走り行く子供たちと人それぞれの中間点、ゴールでは完歩証、記念品を受け取ってウオーキング、冷たい清酒、冷たいワインが無料でふるまわれ、子供たちには色とりどりの風船が渡され、ゴールの生産課

10日には健康ウォークラリー

片貝商工振興会主催の第4回ウォークラリーが今月の10日（日）開催される。今年も昨年同様片貝ふれあい公園、けやき園をスタート・ゴールで行われる。詳しいことについては商工振興会事務局へ。

ぼくらの水仙が咲いたよ!



去る4月20日午後3時頃の球根五百箇を忍字亭玄閣前通路などに植えた。そのスイセンがこの春見事に咲き揃い今が見頃と小宮管理員から連絡があったので、当日は肌寒い日ではあったが、自分たちの植えたスイセンの花を見て、忍字亭を訪れ、片貝保育園の先生方の久しぶりの対面に笑顔のハナを咲かせた後、昨年から自分が植えた球根の所に行き「きれいな花」と歓声を上げていた。

さつき盆裁会

2日・3日忍字亭
片貝さつき盆裁会主催のさつき展示会が明日2日土

茶畑スポーツクラブ

茶畑スポーツクラブ（小宮仁代表）では4月29日（日）午後3時から、茶畑地内に、片貝スポーツセンター前で花の植樹祭を行った。この催しは、同クラブのメンバーの親睦と町内の美化を目的として行われたもので、当日十数名が参加して、メンバーが見附市に出向いて、忍字亭、向き購入してきた、「アマリカハナミヅキ」の苗木を植えた。その後参加者全員で「ハナミヅキの花を眺めながら、盃酌み交わし、親

片貝山草会盛況

片貝山草会（工藤義里会長）が去る5月13日（日）午前9時から午後4時まで、片貝ふるさと会館で、山野草の展示即売会を開催した。この催しは7年前から始められており、今年も会場には会員7名が丹精こめて育てた、エヒネ、ヤブレガサ、白糸草、キンラン、ギボシ、ハッカランなど二百六十鉢前後がズラリと

読みきかせ

小学校低学年を主な対象に、絵本や紙芝居の読みきかせのボランティアを実施している「読みきかせ会」の6月の活動予定は1日（金）の6月の活動予定は1日（金）午後3時30分、9日（土）午後10時、15日（日）午後3時30分、の三回いずれも片貝ふるさと会館で開催される。リサイクル資源の再利用を目指して地道な活動をしている「リサイクルかたかい」は、今月3日（日）午前9時から9時30分まで、収集活動を片貝支所前で実施する。発泡スチロールレイ（大型は市の回収）、ダンボール、乾電池、わりばし、ボロ布、新聞紙など。

ハリーベイビー

○阿部日菜乃ちゃん（四之町）
 パパさん（34才）
 ママ紀子さん（33才）
 第三子三女
 平成12年3月12日生
 現在の体重8kg身長72cm
 Q 前名の由来
 A 3月生まれで「お雛様」をかけて読み、もうすぐ「春」なので漢字をあて
 明るい女の子に育ってほしいと思っていました。
 Q お子さんの様子
 A 野菜の煮物が大好きで、ごはんを食べずには人参や大根を食べています。
 Q どんな子に育って欲しいですか。
 A 二人のお姉ちゃん達に負けず、元気で健康に育ってほしいと思います。

片貝ヒューマンウォッチング

片貝山草会会長の工藤義里氏（57、一之町二区）に出身で、昭和39年から片貝町の住人となった。2人の息子は独立して現在奥さん2人と暮らし、左官職人。片貝山草会は平成2年に発足、平成4年から会長となっており、それがまた魅力であり、会員は現在7名。片貝町に移り住んできて、前年から11月の片貝町総合文化祭にも参加、植物が少なからぬ時季ではあるが、150鉢ほどの出品展示して好評を得ている。春と秋の2回の研修会、各地の山草展や店の見学も行ない、知識の収集に努めている。片貝のさつき盆裁会と合同で夏に生ビール大会、秋にきのこ狩りを行ない、親睦を深めている。また、他の山野草会との交流も厚くなっている。トレス解消法は「山に行き山野草の魅力について質問すると、四季折々に咲いてくれる花。春、鉢の中にあるよ。」

茶畑スポーツクラブ

茶畑スポーツクラブ（小宮仁代表）では4月29日（日）午後3時から、茶畑地内に、片貝スポーツセンター前で花の植樹祭を行った。この催しは、同クラブのメンバーの親睦と町内の美化を目的として行われたもので、当日十数名が参加して、メンバーが見附市に出向いて、忍字亭、向き購入してきた、「アマリカハナミヅキ」の苗木を植えた。その後参加者全員で「ハナミヅキの花を眺めながら、盃酌み交わし、親

読みきかせ

小学校低学年を主な対象に、絵本や紙芝居の読みきかせのボランティアを実施している「読みきかせ会」の6月の活動予定は1日（金）の6月の活動予定は1日（金）午後3時30分、9日（土）午後10時、15日（日）午後3時30分、の三回いずれも片貝ふるさと会館で開催される。リサイクル資源の再利用を目指して地道な活動をしている「リサイクルかたかい」は、今月3日（日）午前9時から9時30分まで、収集活動を片貝支所前で実施する。発泡スチロールレイ（大型は市の回収）、ダンボール、乾電池、わりばし、ボロ布、新聞紙など。

ハリーベイビー

○阿部日菜乃ちゃん（四之町）
 パパさん（34才）
 ママ紀子さん（33才）
 第三子三女
 平成12年3月12日生
 現在の体重8kg身長72cm
 Q 前名の由来
 A 3月生まれで「お雛様」をかけて読み、もうすぐ「春」なので漢字をあて
 明るい女の子に育ってほしいと思っていました。
 Q お子さんの様子
 A 野菜の煮物が大好きで、ごはんを食べずには人参や大根を食べています。
 Q どんな子に育って欲しいですか。
 A 二人のお姉ちゃん達に負けず、元気で健康に育ってほしいと思います。